

豊栄地区公民館運営審議会概要

豊栄地区公民館

実施年月日	第7期 第1回 運営審議会		令和元年7月8日(月)	
会場	豊栄地区公民館（大講堂）		傍聴人	なし
出席者	委員	石川 裕、北村 貞子、日下 美穂子、倉島 陽子、 佐藤 壮、土田 美和、マルシェ7 弘子、村山 貴子 欠席：岩井 聡美、藤沢 直子		
	事務局	豊栄地区公民館：拝野博一、荒木千里、芹野若子、小池俊介、丸山秀子 北地区公民館：畠山公昭、風間雄一		
おもな議題	(1) 平成30年度事業評価・事業報告について (2) 令和元年度事業計画について (3) その他			
上記のうち、審議された議題について以下に掲載する				
審議内容（村山議長、日下副議長選出後審議）				
(1) 平成30年度事業評価・事業報告について				
豊栄地区公民館 北地区公民館	資料に基づき説明			
村山議長	質問、意見はありませんか。			
石川委員	家庭教育については大切で、内容もとても良いと思います。 北区域が初めてなのでお聞かせいただきたいのですが、この事業は北区の家庭教育の必要課題として選択しているのか、参加者の要望によるものなのか教えてください。			
豊栄地区公民館 ：拝野館長	家庭教育学級ですが、ゆりかご学級が新潟市として先進的に取り組み、保育付で親御さんが社会性を保つための取り組みとして始めた事業になります。そのため要求課題というよりは市の方で想定して、このような課題を学んでいただきたいという必要課題が中心となっております。講師を選ぶ際に、アンケートの状況とか、聞きたいことや問題点などに合わせて講師を選定しています。 昨年度の運営審議会の中でも、子どもたちのスマホ依存の問題について、公民館事業の中でも何かできないかという要請もありましたので、家庭教育学級の中でも詳しい先生からお話をいただき保護者から学んでいただく。です。必要課題でスタートしていますが、要求課題についても逐次取り入			

村山議長	<p>れながらやっております。 ありがとうございました。他にありませんか。</p>
北村委員	<p>昨年度よりも人数が多くなっているとみていたら、7ページの成果のところに「昨年より出席率がよく」と書いてありました。いろんところで参加者が増えていますが、他区からのリピーターとか書いてありますし、今までゆりかご学級に出られた方が、また出られたり、という文書を見つけたのですが、どこに書いてあったか出てこないですが、他区からの人とか今まで参加された方がまた参加したりして、人数が増えているのかと思いました。 8ページのサタディキッズの4の大学の中を探検は、40名の参加者がありますが、これはどのような内容か教えてください。</p>
豊栄地区公民館 ：荒木主任	<p>サタディキッズは年間を通して、毎月第2土曜日に開催しております。 大学探検は9月8日に40名参加で開催しました。 この日はバスをチャーターして、大学へ行きました。 大学校内を各班で分かれて、また活動協力員も同行し、各ブースで介護学習や図書館見学など時間毎に分け移動しながらまわりました。 体育館では学生が講師となって子どもたちを相手にボール遊び、介護のブースについては専門の学生から介護の話などの講義が行なわれました。楽しい授業をされていました。とてもよい雰囲気でした。 この大学探検もとても成果があったものと実感しました。</p>
村山議長	<p>ありがとうございました。他にありませんか。</p>
北村委員	<p>北地区公民館に有情のまちの中学生の活動を受けて行きたいなあと思っております、いつか参加させていただきたいと思います。 キネマもとてもよいことで、心温まる情景も浮かんできます。 私が感じている失われつつある日本のよさを感じることができてうれしいです。</p>
村山議長	<p>ありがとうございました。 先ほど事務局からの話がありましたが、平成30年度の事業について、10月に中間報告を説明してあります。 今回初めての方は、少し意味が分かりづらいところもあるかもしれませんが、資料などを事前に配布していただき目を通しておくということをお願いしております。 今、お話しを聞いた中でこの事業ってどんなものなのか、という質問でもよ</p>

倉島委員	<p>ろしいのでいかがでしょうか。</p> <p>私は松浜に在住していますので、北地区公民館のことはよく分かるのですが、豊栄公民館は今回資料を見せていただき色々沢山やっておられるなあと改めて分かりました。</p> <p>内容的には北地区公民館と基本的には同じものであると分かりましたので、事業の根本となっているものは一緒なのでしょうが、地域の特性的なものがあると思うので、同じような内容をやっているとしても、現場に行くと違う雰囲気ではないのかなと思います。</p> <p>私も仕事柄、学校、地域の特性に沿ったものと言われているので、どちらも全く同じものである必要性はないと思いますし、基本は同じですが、現場に行ったらその地域に合った特徴のある事業になっていると思ひながら見ておりました。</p>
村山議長	<p>ありがとうございました。</p>
マルシェフ委員	<p>私は太夫浜に住んでおまして、歩いていける距離に公民館はなく、保護者の送迎とかが必要になってくる。</p> <p>それでも、太夫浜小学校に公民館から来ていただいたりお世話になっています。そのような出前事業で太夫浜の子たちも参加できるようなことを考えております。</p>
村山議長	<p>ありがとうございました。今の意見の中で昨年度までは公民館の方からも出前事業というものがあって、公民館と学校との交流の場があったということですが、これからは事業の一部を廃止していく形になるのですが、予算がつかないということで、それでも、公民館と学校が繋がるものというのは教育委員会に働きかければ可能だということでしょうか。</p>
豊栄地区公民館 ： 拝野館長	<p>地域教育推進課の方で、学校と地域を結ぶような事業をやっています。公民館の方も学校と地域を結ぶ事業で公民館がお金をもって地域の人を先生として学校へ派遣して、そこで地元の人に学んでもらうということをやりましたが、結局は同じような主旨の事業なので、どちらかに統一しましょうということで、学校の方の予算を残しました。</p> <p>ただ、今後学校現場の方も、コミュニティスクールという制度を導入していくこととなります。そうすると地域の方は学校運営に参加する、また学校の人事異動についても意見を述べ、それを学校が聴く、このように地域が学校に参画していくようなしくみづくりを今後進めていくような形になってい</p>

	<p>ます。</p> <p>そうすると、実は先行してやっている佐渡市なんかでは学校の中に公民館があるみたいな状態になっている。</p> <p>ようは、地域の人がそこに集まってきて空き教室を使って公民館でやっているような事業をやったりとか、お茶の間みたいなものをやったりして、地域と学校が密接に関わって行ってそこに来てくれる人が、子供たちにも関わってもらって見守りをしたり、学習の指導をしたりしている。</p> <p>公民館の出番がだんだんなくなって行って、学校が地域の拠点となっていくような未来が描かれています。</p> <p>その中で、公民館も地域の人にとって大切な学びといったものをそれぞれの現場でもってきっちり提供していきますが、学校の現場でのサービスというのはそういうところ（コミュニティスクール）に移行していくというのがみえてきます。</p> <p>先日も葛塚東小学校地区の地域懇談会があって先生方からいろいろ話があり、葛塚東小学校は福島潟の雁迎灯をやっています。地元の素材を生かして学校は地域に関わっていますが、公民館とも連携はしたいよねという話をいただいております。ただ公民館はお金がないんですよという発言をしましたが、学校現場の方でも、公民館が持っているノウハウを教えてほしい。また何か地域とつながれるような部分で公民館の知識がいかせれば、ぜひかかわっていきたくないと申し出がありましたので、お金はついてないが、こんな人材がいるとか、こんな活動をしているおもしろい人がいるよとかそんな面で学校と今後も連携がとればいかなと考えています。</p>
<p>北地区公民館 ：畠山館長</p>	<p>予算的にはないので、やれる手段をいろいろと考えながら提供していく。ただ、学校が地域にあるのに公民館は関係ありませんということではできませんので、色々な面で協力はできると思います。講師の紹介とか企画など相談しながら進めていければと思っております。</p>
<p>村山議長</p>	<p>ありがとうございました。佐藤委員はなにかありませんでしょうか。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>3点お願いします。</p> <p>5ページの家庭の教育力の向上を支援する事業「ゆりかご学級」のところでの説明の中で、北区の年間出生数が約500名だと。そこに出てこない保護者が、いかに社会との関わりをもっていくか、もたせていくかという大きな課題について説明があったが、この課題の解決に向けた方策みたいなもの、今年度、中長期的なビジョンみたいなものがあつたら教えていただきたい。</p> <p>2点目は5ページ（3）の児童期家庭教育学級で内容をみて昨年度この会で</p>

も話題となった、ネット社会での対応ということで、中学校現場、小学校現場での話しをお聞きしたり、中学校小学校では遅いんだ、就学前の子ども達にどう通信機器と関わらせていくのかということをやっていないとだめなんだという指摘もありましたので、この3番の知っておこうネット社会のこと、だめではなくどう使うか、とてもよいテーマを設定していただいたと思います。

参加者を見ると、この中で一番数の多い参加者数なんですよ。

この時の参加者の方の受け止め方とか反応とかどんな状況だったのか、今後それがどうなっていくのか、あるいは北地区でも同様のことをこれから広げていくとか、そういったことにも関わって話しを聞かせて頂ければ幸いです。

3点目は7ページ、今話しのあった事業の成果の中で2行目に例年より出席率がよく、という表現があるが、出席率ということはどういうことなのか。たとえば事前に申し込んだ人数に対して当日の参加者数の割合なのか、あるいはもっと違う専門的な意味合いなのか、ここがよく分かりません。以上教えて下さい。

豊栄地区公民館
： 拝野館長

ゆりかご学級の出てこない保護者に対する方策、ビジョンですが、中々難しいというのが実感で、具体的な方策についてはまだはっきりとした展望がもてないというところです。

ただ、もともと500人の保護者全員に来ていただく、というのは私達のキャパシティ、北区内で4回の講座をやるわけですが、30×4回で120名の定員になります。ただその定員にも今、達していない状況です。ですので、まずはゆりかご学級が大切だよということとこういうことをやっているのでぜひ来て下さい。というPRにまずは力を入れて、必要としている人に必要な情報が届く、その情報をどう届けるかというところを検討していくことが必要と考えます。

今頂いた指摘は大切なので今後担当含めて館として対策を考えていこうと思います。

2点目の児童期のネット社会の対応ということで、やはり就学前の子どもたちを持つ親に対して、啓発していくことが重要だという指摘をしていただいた。その通りで、公民館としては、今児童期で設定していますけれど、今後ゆりかごの中でそういうものがないか。

今、北区役所の自治協議会の中で、福祉教育部会があり、そこで今新生児を持っている親子さんに、全員が受ける股関節検診とか保健師さんが訪問するような時に、育児に必要な知識、その中には当然ネット漬けにしてはだめだ

よ、小さいころからは脳の発達に悪影響がありますよとかというテキストブックを作りましょうというプロジェクトが進んでいます。ですので、そういったものを活用しながら新生児を持っている親にはそのテキストを持って健康福祉課がやるいろいろな事業の中でアプローチしていく、それと連携しながら私たちもゆりかごの中でそのテキストを使って講座をできないか？そのようなところを検討していきたいと考えております。

参加者の受けとめですが、これについてはアンケートの集計結果が手元にないので、主なところをまとめたものを後ほどみなさんの方へお手紙などでこんな意見がありましたということでお知らせさせていただきたいと思います。

3点目の出席率ですが、これについては冬講座もそうですが、申込みはするんだけど、講座当日になると都合が悪くて行けないなど必ずいますので、そういった欠席が少なかった、それで出席率がよかったですよという表記になっております。

あと、7ページの成果欄で、5・6番の思春期の心、中学生になる前に知っておきたい10のこと 参加者8名、ぶっちゃけ子育てトーク8名ということで、それ以前の回に比べ半分以下に減っている。それについては⑤成果のところを書いております、高学年の保護者に対象をしばったということで全部の参加者、全部来て下さいではなく、参加している中でも高学年の人に知っていただきたいことを伝える回にしたので、担当の方からは中身が濃くて参加者の満足度は高いものがあつたと意欲をもって参加した人が多くて、結果として満足度は高くなったという評価をいただいております。

ですので、出席率が評価の一つではありますが、やはり出席した人が講座にどれだけ満足しているかということも目配せしていかないといけないのかなと思っております。以上です。

豊栄地区公民館
：荒木主任

佐藤委員から一年前の審議会において中学生のスマホ依存の話がありました。

先月ですが、県のメディア研修会が企画されて、インターネットの有害情報と青少年の内容でありましたので、公民館事業の今後の将来的なことを踏まえて参加してきました。

そこでの話しの中で、新潟県では子どもへのスマホは高校入学に合わせて与えている割合が多いということでした。

研修の中では、できる限り小さい頃からスマホに慣れさせること、また家庭の中ではきちんとルールを決めてスマホと向き合うことが重要との話しが

<p>村山議長</p>	<p>ありました。 このスマホ依存については昨年の審議会後、全国紙でも取り上げられるほど深刻な問題となっておりますので、公民館としても家庭教育の事業において家庭力がつけられるような事業を展開していく必要があると感じました。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今のことに関わって、保護者の立場として意見をお聞きできる場なのでぜひ教えていただきたいと思っております。 実は今のお話しと関わって、木崎中学校へ来た1年目の年に驚いてどうしようかと思いました。 子ども達はスマホ所有率が7割以上なんです。 家に帰って3～4時間使っているということも分かったんです。 これで保護者とか先生方はこの子は勉強しないんだと嘆いているんです。 つまり、家庭学習をしない、できる環境を作ってやらないと子ども達は勉強しなかったのです。 私は一年目になにをしたかという、家庭学習の環境を作ってやらないとだめだということで、通信機器の利用に関するルールづくりといったものを半年かけて作成しました。 私達は結果を急ぐのですが、子ども達にまず原案を出させて学級討議をさせて、それを生徒会が吸い上げて案を作り、また学級に戻して話し合いをして、そこに教員が入って話し合い、再度生徒会で話し合い、その後地域の保護者にも入ってもらい話し合いをしてということで、6カ月かかりましたけどそれがとても良かったと思っております。 子ども達が最初に作った案は「スマホの利用は11時まで」というものでした。 それを見て私はどうしようかと思いました。それが学校の現実でした。当たり前だという意識ですね。ただ、それを言った子ども達の話しを聞くと納得もできる。 「だって先生、私は9時まで塾に行っている。家に帰ると9時半で、ご飯を食べてお風呂に入って10時だと、11時までだと1時間しかないんです」と。 普段は平日に3時間やっているんだから、本当は1時までやりたいんだけど、それをがまんして11時としている。 なるほど、このような子もいるんだと思いました。 だけでも、それに対して11時までだという子もいるんです。 そこでどう折り合いをつけさせるか、何回も話し合いをさせ、結局メールと</p>

	<p>か他人との交信をするのは9時までとしましょう。その後、実態として一番多かった、動画を見るとか、検索をするとか、そういうことをやっている子が多かった、それは10時までとしましょうという案を最終的に採択しました。</p> <p>そういったプロセスを踏むことによって、子ども達はスマホとどう付き合っていけばいいんだろうということを考えてくれたし、今実際に学習時間は増えて、またスマホの利用時間もだいぶ減ってきたという実態があります。</p> <p>こういったことを学校だけではなく、おっしゃった通り家庭と地域と一体となって取り組んでいく。これは木崎小学校も笹山小学校も木崎中学校も一緒になってやりました。</p> <p>こうやっていかないと、子どもたちはどんどん好き勝手に自分なりのルールを作ってやってしまうんです。</p> <p>だけど私たちが知っている子ども達の姿はある意味表層的な部分でしかないかも知れません。</p> <p>私もあんな便利なものがあればやっぱり使いたいと思います。その辺りをどうすればよいのか今悩んでおります。</p> <p>ジレンマもありますが、ぜひご指導いただければと思います。</p>
土田委員	<p>保護者の立場ですが、今高校1年生の子がいます。</p> <p>中学の時は、周りの子は、LINEをお母さんの携帯で登録してやってましたが、私は自分の携帯だからできないんだよと言って、連絡手段については、子どもたちで話し合ってやると、中学の時は電話か話し合い、緊急であったら公衆電話でも良いからとお願いしてました。</p> <p>すごく反感もありましたが、高校に入って、ルールを決めましょうということで、家庭では居間でやることで決めていました。いろいろと縛りがある中で何とかやっている状況でした。</p> <p>公民館の講座でもネットの講座があったので、それも受講しました。親が制限をかけられるとも聞いていたので、そのようにしていました。</p>
佐藤委員	<p>寝る前にちゃんと居間にスマホを置いて充電するんですね。そこが大事なんですね。</p>
村山議長	<p>家庭でしっかりとルールを決めてやってもらえればありがたいお話です。公民館での講義を受けたことが大きいということをもおっしゃってましたのでこれからも公民館でも継続してやっていただきたいと思います。</p> <p>時間も限られておりますが、今ほど多くの意見を出していただきました。</p>

	<p>特に家庭教育学級の内容についていろいろな意見が出されました。公民館の方の予算も削減されておりますので、事業廃止の項目もいくつかありましたが、それについての意見はございませんでしたのでご了解していただきたいと思います</p> <p>それでは次の議題、令和元年度事業計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>豊栄地区公民館 北地区公民館</p>	<p>資料に基づき説明</p>
<p>村山議長</p>	<p>ただいまの説明について質問意見などございますか。</p> <p>それでは私からですが、豊栄地区公民館の事業計画 27 ページの新規のところに○がついています。2つの事業について説明をお願いします。</p>
<p>豊栄地区公民館 ： 拝野館長</p>	<p>人権啓発のほうは法務省からの予算で講師を呼んで人権に関する講座を行う事業となります。</p> <p>現在、女性セミナーの中で人権問題に詳しい方からお話をもらう予定でおりますが、まだ細かいところは決めてはおりません。</p> <p>予算が減らされておりますので、そういった予算を活用して講座を作っていくこととなります。</p> <p>2つ目の茶の間の学校ですが、紫竹で河田瑠子さんが先進的に取り組んでいる地域の茶の間というものがあります。</p> <p>地域の方が、そこに出てくることによって、お世話されるだけでなく自分もその運営に関わって、自分ができることを社会に対して返していく。</p> <p>お客様で行くのではなく、その茶の間に行く人はおもてなしをする人でもあります。</p> <p>支え、支えられる関係を作っていく。その運営方法をどうやったら、地域で茶の間が広がっていくか、それを実際に紫竹で勉強したりします。</p> <p>2回講座ですが、最初は公民館での座学で、地域の茶の間はどういうものかと言うことを勉強してもらい、2回目は実際に紫竹の方へ行って運営委員さん達がどんな形でお客様を迎えて、またお客様もどんな形でできることをやっているのか、その辺のサービスや運営のノウハウを現場で学んでいただく。</p> <p>2日間参加すると修了証書をお渡しするというような事業になっております。</p>

村山議長	<p>この2つについては今年度初めてやるので新規で掲載しております。ただ継続については少し難しいかと思っております。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>実はこの茶の間の学校というのは、北村委員もそうですが、私たち民生委員は隣のコミュニティーセンターで一度講座を受けたことがあります。その時のメンバーは民生委員であったり、町内の自治会あるいはその自治会内でサロンを運営しているような方たちが参加していたんですね。</p> <p>この前の時は講座一本でしたので、今お話をお聞きすると2回の講座で紫竹の方まで行って現場を見て、ノウハウの習得ができるということなので良い企画かと思えます。</p> <p>私たち民生委員の方も、公民館といろいろなことでつながって事業を展開できるとありがたいのかな期待しております。</p>
豊栄地区公民館 ： 拝野館長	<p>講座の準備をするのは公民館で行いますが、バスのチャーター費用は福祉総務課が予算を持っております。ただ皆さんの方で来年もやって欲しいなという要望があれば、こちらとしても要望していきたいと思っておりますので参加者の意見を聞きながら検討していきたいと思っております。</p>
村山議長	<p>ありがとうございます。他にありませんか。日下委員からご意見の方お願いします。</p>
日下委員	<p>では何点かお願いします。</p> <p>文芸あがきたの件です。廃刊となったので前回は編集委員へは丁寧に説明していただきたいとお話が出たかと思えます。最終記念号が出るということで、とても嬉しく思います。</p> <p>大変長く続けてきたもので、皆さんの思いも高いものと思っておりますので、新潟市の市民文学と一緒になるということで、うまく思いが繋がっていけばいいなと思っております。</p> <p>一点確認をさせてください。</p> <p>Facebook を拝見させていただきました。以前から参加者の顔の写り具合が、なんて話がこの会議でも出ておりましたが、ぼかした感じで掲載していただいており安心しております。</p> <p>今回、職場体験の中学生の顔が、生き生きとした表情で出てまして、これは確認を取って載せているのかとは思いますが、一応確認させてください。</p> <p>内容の方を中学生と一緒に考えたと言う部分もありましたので職場体験でFacebook に自分が載ることにも参加できている事は大変良い取り組みだと</p>

	<p>思います。</p> <p>最後ですが、参加者がなかなか伸びないという話は全般を通してあるかと思いますが、その中でも家庭教育学級の方で、保育希望が多くあったため、保育定員を増やしましたというのが豊栄地区公民館の7ページのところであります。</p> <p>保育をしていただけることで、参加したい人をきちんと救い上げる事ができたのかと思います大変すばらしいと思いました。</p> <p>参加したいと思っている方にできるだけ来ていただけるようにというのはとても良いことと思います。</p> <p>それと大変希望者が多かった夏休みのプログラミングですが、125名の申し込みがあったのに延べ参加者数が24名。魅力のあるテーマを探していただいているという点ではとても素晴らしいと思います。</p> <p>今年度の事業計画については、年々テーマなどに工夫をされており、目にした方が行ってみようかなという気持ちになれるようなチラシの作り方、テーマの内容であったのではないのかと感じております。</p> <p>参加者が増えて満足度が高い事業が多いと資料を見て思っております。</p>
<p>村山議長</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>豊栄地区公民館 ：荒木主任</p>	<p>先程のFacebookの関係ですが、今回の職場体験では七夕ウィークということもあり、笹竹にいろいろ飾り付け等の作業をしていただきました。</p> <p>その際、担当からFacebookへの掲載についても顔が出ることについて承諾をもらっていると確認しました。</p>
<p>豊栄地区公民館 ：拝野館長</p>	<p>2点目については、保育の希望が多いので、若干名ではありますが、その分を増やして何とか希望者を受け入れることに繋がっております。</p> <p>同様に6ページの幼児期家庭学級の方でも、参加者を見ていただくと参加者数が21.22.23ということで定員20名のところですがそれを上回る人数が参加しております。</p> <p>これについては保育定員15名のところ18名にして、参加者の受け入れを定員数を上回る部分受け入れているということでこのような数字になっております。</p> <p>先程の7ページの児童期も定員を上回っています。</p> <p>プログラミングですが、企業の方からパソコンを用意してもらって子供たちの参加を募ったのですが、最大12台のパソコンしか用意できなかったのですが、当初1回の講座の予定を2回にして、何とか多くの参加をと考えましたが、125名のうちの24名なので漏れた方には申し訳なく思っております。</p>

	<p>予算が潤沢にあれば、別の回で講師を呼んで同じような講座をやろうとも考えたのですが、予算面でも厳しいところがあり、この2回で終わりということになりました。</p> <p>ただ去年の委員の中でパソコンを使わなくてもプログラミングが学べ、そんなに予算もかからないとのお話がありました。今後もし、プログラミングをやる機会があれば、スクラッチというもので行くと人数が多くてもできるのではないかと考えております。</p> <p>今年度の事業でもチャレンジキッズがありますが、今年は子どもたちに声優体験アニメーションのアフレコ。これについては新潟市は漫画の街であるということと、子どもたちにも声優志望の方も多いと聞いているので、学校ではなかなか体験できないものに触れていただきたいと思い企画しました。</p>
村山議長	<p>ありがとうございます。他にありませんか。</p>
マルシェフ委員	<p>先ほどのゲームのネットのことで保護者の立場からですが、小学校卒業の春休みの時に、すでにクラスにはLINE グループができておりまして、中学校で2つに分かれています。もともとのクラスのグループ、新しいクラスのグループができていたようです。</p> <p>親の携帯で参加している子どもさんといえば、自分の携帯を持っている子、携帯でなくても iPad とか通信ができるような機器で参加している子が多かったようです。</p> <p>ゲームについても、部活が終わってから 11 時までで、ご飯を食べ終わってからみんなでログインして一緒に遊んでいる状況です。</p> <p>約束しているから何時までにご飯お風呂を終わらせなければいけないとか、そういう感じでみんなで遊んでいるようです。</p> <p>先ほど先生のおっしゃった通り、ゲームをしているから宿題ができない。家庭教育の時間が少なくなるというような状況です。</p>
村山議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ネットに関する問題点は話が尽きないくらい出てくると思いますが、学校でも地域でも着目していただいて、今後もこの中で審議して行けたらと思います。他にございませんでしょうか。</p> <p>ないようなので本日予定されていた議題について審議が終了いたしました。皆様からたくさん意見をいただきましてありがとうございました。</p>